

## Q : 工程's で予実管理がしたい

- 工程's では、**確定した初期計画を計画バー**として表示させ、**実績工程（最新バー）**との差異を比較する事により**予実管理**をする事が出来ます。

## A : [計画バー]を活用しましょう

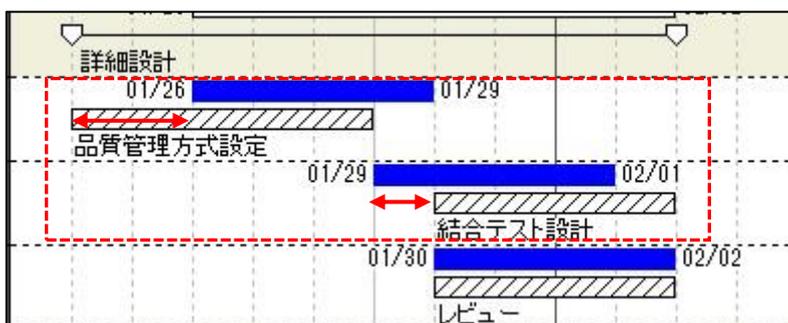
作業日程が確定し、負荷の調整まで完了したら、**その時点での最新工程表を「初期計画」として確定**します。初期計画は**[計画バー]**として、**最新バーと並列表示**しておく事が出来ます。その時点以降、**最新計画を更新する事で、初期計画との差異を把握する事を目的**としています。これで、**理想（初期計画）と現実（実績）**を常に比較しながら、プロジェクトを進める事が出来るのです。

### ◆ [計画バー]表示例① :



[計画バー]は[最新バー]と同様に、右クリックメニューで**シンボル・色**を変更できます。  
※ 今回は例として、**青色**に変更しています。

### ◆ [計画バー]表示例② :



### ※見方

「品質管理方式設定」の工程が、当初の計画に比べて**若干前倒し**に、逆に「結合テスト設計」では、**やや遅れ気味**である事が分かります。

## ◆ [計画バー]基本の使い方

1) まずは、[バーレイアウトの変更]で、1行に計画バーと最新バーを並列表示する設定をします。

バーレイアウト						
作業別	区分1	区分2	区分3	区分4	マイルストーン	資源別
	高さ(%)	バーの種類		項目1		
1段め	100	計画バー	初期計画	開始日-終了日		
2段め	100	最新バー				
3段め	100			名称		

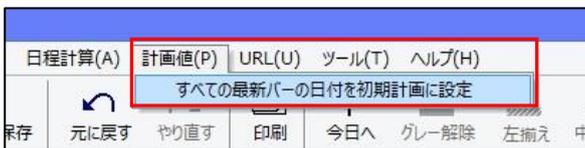
今回は例として、**「1段め」に[計画バー]を設定**します。これで、ちょうど**最新バーの真上に計画バーが表示**される形となります。

### ◆ Point:

[初期計画 開始日-終了日]が、計画バーの日付を表します。

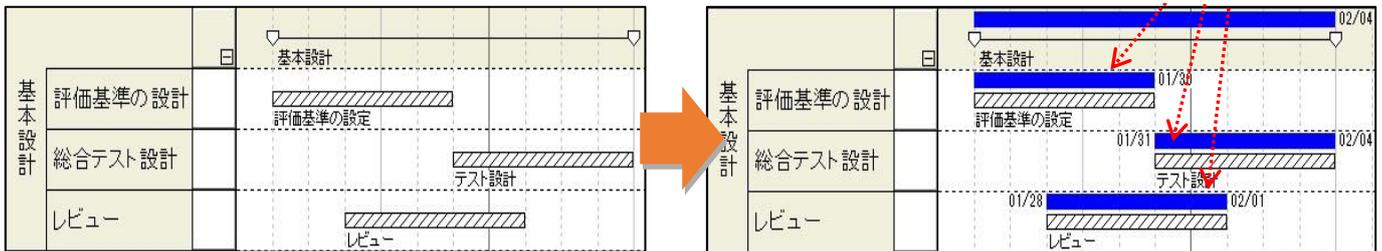
2) 次に、現在の**最新計画**を「初期計画」として確定します。

メニューバー[計画値(P)]から、[すべての最新バーの日付を初期計画に設定]をクリックします。



すると、その時点での**最新バーが計画バー**となり、**最新バーの真上へ表示**されます。

計画バー



## ◆ [計画バー]更新方法

計画バーは、最新バーのように単独での移動・期間の変動ができません。

変更したい時は、**計画バーを移動させたい位置へ最新バーを配置**し、

右クリックメニューから**[選択した最新バーの日付を初期計画に設定]**を選択します。

### ◆ Point:

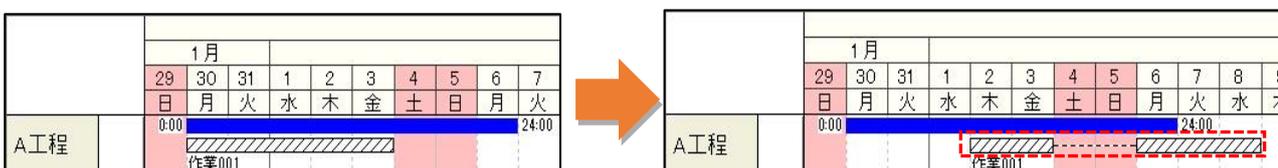
計画バーは、最新バーのように**単独での移動・期間の変動ができません**。

これは、「計画バー」=「ある時点での確定した計画」であるためです。

「ある時点での計画」=「ある時点での最新バー」なので、計画バーの更新は、最新バーの期間を変更する事によって行います。

### ◆ 変更手順:

1) 計画バーを動かしたい位置へ、**最新バーを移動**します。



2) 移動後の最新バーを右クリックし、メニューから**[選択した最新バーの日付を初期計画に設定]**を選択します。クリックした**最新工程（最新バー）**を、**その時点での[初期計画]**として更新します。

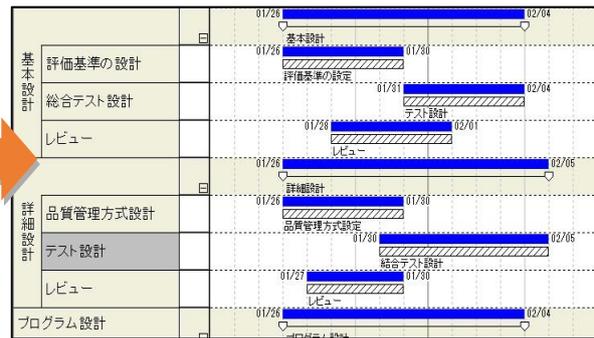
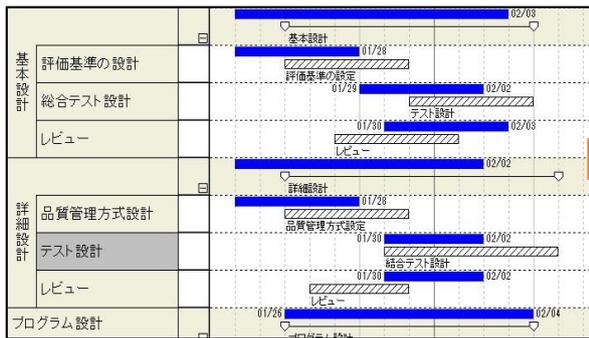
**計画バー変更完了**

**最新バーの位置へ、計画バーが再配置されました。**

◆ **Tips: 計画表全てのバーの初期計画を変更する時**

変更した最新バー全てに対して計画バーを変更したい時は、メニューバー**[計画値]>[全ての最新バーの日付を初期計画に設定]**を選択・実行します。

**すべて計画バーの日付が、最新バーの日付へ変更されました**



◆ **次回予告**

次回は、**[資源別ビュー]**の使い方をご紹介します。